

第54号・令和7年3月

# 農業会議だより

発行：一般社団法人佐賀県農業会議



第26回全国農業担い手サミットinさが実行委員会委員長・佐賀県農業士会会長 原 康裕 氏

磨き 高め 未来に継なげる日本農業～集え！担い手 維新の地 佐賀へ～ を  
テーマに1月22日～23日にかけて、第26回全国農業担い手サミットinさが  
が開催されました (記事は次頁に掲載しています)

## 【内容】

1. 全国農業担い手サミットinさが、全国優良経営体表彰が開催されました
2. 農業委員会サポートシステム操作支援に係るSE派遣について
3. 目標地図作成に係る農業委員会サポートシステム操作研修会を開催
4. 農業委員会女性委員研修会を開催
5. 女性農業者との意見交換会について(玄海町)
6. 耕作放棄地を活用し、ソバ栽培で地域交流(嬉野市)
7. 農業委員会の取り組みについて(上峰町)
8. 農業者年金の加入推進について
9. 全国農業新聞の普及推進・全国農業図書の紹介
10. 常設審議委員会の結果(1・2月) / 今後の行事予定

## 1. 「第26回全国農業担い手サミット in さが」、「令和6年度全国優良経営体表彰」が開催されました

「第26回全国農業担い手サミット in さが」が、1月22日(水)～23日(木)に県内外から1,800人が参集し、SAGAアリーナ、佐賀市文化会館及び県内6地域で行われました。佐賀県での開催は初めてとなります。

佐賀の八賢人おもてなし隊による歓迎アトラクション、全国優良経営体表彰や佐賀市出身でNHK解説副委員長、AFJ 農業経営大学校理事長の合瀬宏毅氏による基調講演、担い手によるサミット宣言等の全体会、さらには県内6地域25コースの地域交流会を通じ、農業経営の現状や課題についての認識を深めました。



地域交流会



全国優良経営体表彰

また、優れた農業経営を実践している農業経営体を表彰する「令和6年度全国優良経営体表彰」では、県内から10経営体が表彰されました。

- 農林水産大臣賞 生産技術革新部門 有限会社岩石農産（白石町）  
6次産業化部門 有限会社ナカシマファーム（嬉野市）  
担い手づくり部門 山口 仁司 氏（武雄市）
- 経営局長賞 働き方改革部門 吉牟田 太 氏（嬉野市）
- 全国担い手育成総合支援協議会会長賞  
経営改善部門 株式会社百姓屋（伊万里市）  
株式会社 M's green（みやき町）  
中山牧場株式会社（玄海町）  
生産技術革新部門 株式会社石橋果樹園（佐賀市）  
販売革新部門 株式会社サガンベジ（みやき町）  
有限会社かねひろ（太良町）

**受賞者の皆様、本当におめでとうございます。  
今後ともご活躍を期待しています。**

## 2. 農業委員会サポートシステム操作支援に係るSE派遣について

農業委員会サポートシステムについては、農地情報の管理をはじめ、地域計画に係る目標地図の作成や、経営所得安定対策の補助金申請等を電子申請で行うeMAFFとの連携など、その必要性が増しており、農林水産省は全国農業会議所と連携して、農業委員会サポートシステムの活用を図っているところです。

このため、農業会議では、農業委員会サポートシステムの活用を推進するため、農業委員会に専門的な知識を有したSEを派遣し、データ更新等について操作支援を行いました。

### (1)操作支援の内容

- CSV 一括更新の方法
- CSV 一括更新後のエラー原因の特定と解消方法
- 目標地図作成の操作支援

### (2)支援時期・市町

- 令和6年9月～令和7年2月
- 伊万里市、吉野ヶ里町、上峰町、玄海町  
(各4回ずつ支援)

令和7年度も農業委員会サポートシステムに係るSE派遣を行います。



**早期に農業委員会サポートシステムへの一本化をお願いします。**

## 3. 目標地図作成に係る農業委員会サポートシステム操作研修会を開催

農業会議は、1月29日(水)に佐賀県農業大学校で「目標地図作成に係る操作研修会」を開催しました。

今回の研修会は、3月までに策定する地域計画の目標地図作成はもちろんのこと、令和7年度以降、地域計画を変更する際には目標地図も更新する必要があり、農業委員会だけでなく市町農政部局の職員が作成する場合も考えられ、その様な市町の要請に応じて開催し、32名の参加がありました。

全国農業会議所の大川真司氏から農業委員会サポートシステムの地図作成機能の説明や地域計画の地区名の設定、目標地図のエリア作成、意向調査結果のデータ取り込みなど各種設定や操作方法について研修しました。

参加者からは、「目標地図を作成するにあたって具体的な操作方法を知ることができた」、「目標地図作成は農業委員会サポートシステムを活用し、作業を進めていきたい」などの感想が聞かれました。

**令和7年度以降は、地域計画の実現とともに地域計画のブラッシュアップの取り組み（目標地図の更新）をお願いします。**



## 4. 農業委員会女性委員研修会を開催

県農業委員会女性協議会（岩橋久美会長）は、2月28日（金）に農業会議と共催で「農業委員会女性委員研修会」を開き、会員ら36名が参加しました。

前段は、農業会議職員による農業委員会活動演習を行い、活動を行う上で必要な知識等をクイズ形式で出題。グループ形式に分かれた委員同士で意見交換しながら、農地・就農・経営・人材など幅広い分野の問題を解き、委員として知っておくべき知識を深めました。



### 2. 農地の権利移動

- 令和7年4月からは、農地の貸借は市町で策定された [ ] に基づいて農地の貸借が行われる。
- 令和7年3月で [ ] での相対による利用権設定は廃止となり、農地の貸借は農地法3条によるものと、 [ ] となる。

### 14. 複式簿記・青色申告

- 複式簿記は、収益や費用の発生を記録する [ ] と事業で使用する現金や預金、土地や建物など事業用資産の増減変化を記録する [ ] を行う
- 申告控除
  - 複式簿記で青色申告者→ [ ] 万円控除  
かつ電子帳簿保存かe-Tax申告であれば [ ] 万円控除
  - 簡易簿記で青色申告→ [ ] 万円控除
  - 簡易簿記で白色申告→控除なし

出題された問題（解答は下部）



後段は、農業者年金基金の本田かおり専門役より、農業者年金の加入推進活動における女性委員の役割について講演。「若い世代や女性に農業者年金に加入してもらうことは、安定した農業経営にもつながる」、「女性委員が戸別訪問を行う方がより効果的なので、女性委員が率先して動いていただきたい」などと話されました。

研修後には、委員が活動しているなかでの疑問や悩みについて、委員と本田専門役が意見交換を行いました。

女性委員からは「グループ形式で他の委員の経験談を聴けて参考になった」、「委員2期目を迎えるが、まだ知らないことがあったので日々勉強します」、「農業者年金の若い農業者や女性への加入推進には、女性の役割が重要という自覚をもって、日頃から地道に対象者へ声掛けをしていきたい」との声が聞かれました。

答(左上から)：地域計画、基盤法、農地中間管理事業・損益計算、財産計算、55、65、10

## 5. 女性農業者との意見交換会について

玄海町農業委員会（会長・越路磯樹）は、町農林水産課・企画商工課と共催し12月6日(金)に玄海町役場で「女性農業者との意見交換会」を開催しました。

この意見交換会は、農業委員会会長職務代理者の吉田豊氏から、「町内で頑張っている女性農業者と意見交換を行う場を設けて欲しい」との要望があり開催したもので、農業委員13名及び町内の女性農業者12名が参加しました。

意見交換会については、参加者全員が発言しやすいよう4班体制でグループワークを行い、「農業を通して未来の玄海町を考えよう」をテーマに活発な意見が飛び交いました。



### 【女性農業者の主な意見・要望の内容】

- 子供が将来、やりがいを持って農業を継ぎたいと言えるよう農業の魅力などについてSNS等を使って発信していきたい。(30代・施設園芸)
- 玄海町の豊かな自然と関わりながら農業ができる魅力と、自分が作った農産物が人々の生活を支える喜びについて、将来を担う子供たちにも感じて欲しい。(40代・果樹)
- 農業も週休2日制を導入し、他の仕事と同じように休みがとれて農業の楽しさをもっと伝えることは大切なことだと思う。(40代・畜産)
- 規格外品の農産物を加工する施設が欲しい。もっと玄海町で農業をしたら楽しい。ということ発信して一次産業を守っていきたい。(30代・施設園芸)
- 次の世代が続かないと玄海町の一次産業は衰退してしまうのではないかと感じる。もっと農業以外の業種の人たちと交流できる機会が欲しい。  
(30代・畜産)
- 家事分担について、男性に役割を振り分けたいという考えは皆が持っていると思う。もっと女性農業者が社会進出に向けた意識付けなどが必要になってくると思う。(40代・畜産)
- 他の農家（畜産以外）と関わることがほとんどないので、今回はとてもよい経験になりました。また機会があれば参加したい。(30代・畜産)

農業委員からは、「女性農業者の視点で活発な意見が聞けてよかった」、「女性農業委員登用の大切さについて改めて認識できた」との声がありました。

今回の意見交換会では、玄海町で活躍する活発な女性農業者が集まり、男女共同参画基本計画で国が目指す女性農業委員の登用目標30%の達成に向けて取り組んでいます。(情報提供：玄海町農業委員会)

## 6. 耕作放棄地を活用し、ソバ栽培で地域交流

嬉野市の「塩田地区地域コミュニティ運営協議会」（会長・岸川和則）は、農業従事者の高齢化や鳥獣被害等で耕作されなくなった農地を活用し、子供たちに農業の大切さを学んでもらおうと、平成27年に地元区長や農業委員の前田安一氏らと協力して、塩田町塩吹地区の耕作放棄地 30 a で岸川会長が栽培を経験していた「ソバ栽培」を始めました。



現在では、美野地区、鍋野地区、町分地区のそれぞれの耕作放棄地を再生して合計面積は 1.6 ha まで拡大しました。栽培したソバは、ソバ打ち体験でふるまわれています。

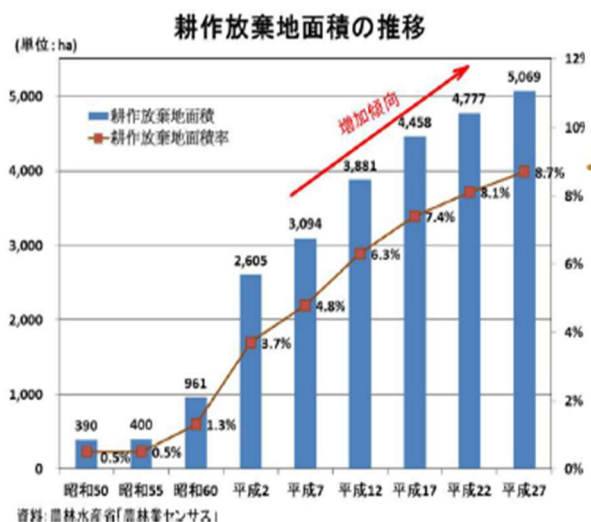
昨年8月の種まきと11月の収穫（写真）、試食会には、塩田小学校の6年生と地域住民ら約30人が参加され、子供から大人まで幅広い世代の交流の場となっています。

岸川会長は、「耕作放棄地から害虫等が発生し、困っている。何とか地域環境を守りたかった」、「使われなくなった農地を活用して、ソバ栽培を通じて子供たちや地域の皆さんとの交流の場となってよかった」と語っています。

（情報提供：嬉野市農業委員会）

県内の耕作放棄地は、平成27年に約5,000haあり増加しています。耕作放棄地対策については、農業委員会の業務に位置づけられています。

日頃から農地パトロールを着実に実施して、耕作放棄地が多くある地区では委員1人あたり10aの耕作放棄地“解消活動”を設定するなどの取り組みをお願いします。



## 7. 上峰町農業委員会の取り組みについて

### 【農業委員会の体制】

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

体制：農業委員6名、農地利用最適化推進委員4名、事務局4名

#### (1)上峰町の概況について

上峰町は、佐賀県の東部に位置し、北部が丘陵及び台地、南部は佐賀平野となっており、約450haの水田地帯が広がっています。

米・麦・大豆の栽培のほか、アスパラ、いちご、たまねぎ、マンゴー、ライム等の栽培も行われています。



#### (2)農業委員会の取り組みについて

担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進、地域計画の策定等について、地域における現場活動を日々行っています。

毎月上旬に開催している総会では、農地の権利移動に関する意見聴取を行い、農地の効率的かつ総合的な利用について、適正・公正な審査を行っています。



また、地域計画策定に向け、町内を堤・坊所・前牟田・江迎の4つのブロックに分け、話し合いを行っています。

農業委員・農地利用最適化推進委員は、話し合いの場において問題提起や情報の補足を行う役割を担い、農業について地域の皆さんとともに議論を深めています。

この活動のほかに、上峰小学校の5年生を対象に行われる稲作体験活動は、地元の農家の方、担当地区の農業委員や小学生が、毎年楽しみにしている恒例行事で、今年度ももち米の苗を植えました。



収穫したお米で、もちつきまで行う稲作体験活動を通して、米作りの大変さや、お米を食べられることのありがたさを伝えることができましたと思います。

このように農業への意識・理解を深めることを目的とした活動にも取り組んでいます。(情報提供：上峰町農業委員会)

## 8. 農業者年金の加入推進について

1 月末時点の県内の加入状況は右表のとおり、12・1月併せて **10名** の新規加入があり、県内目標達成率は 70%、達成まであと 17 人です。

今年度も残すところあと 1 ヶ月となりました。全国的には農産物価格の上昇などの要因により、前年度より大幅に加入者が増えています。

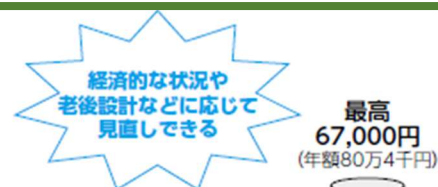
農業者年金は経営状況に応じて **2万円（要件を満たせば1万円）～6万7千円** まで保険料を 1 ヶ月・千円単位で変更できることもメリットです。

また、任意のタイミングで脱退、再加入もでき、若い世代でも加入しやすい弾力性のある点も加入推進のポイントです。

今年度の目標達成、来年度のスタートダッシュにむけて、引き続き推進をお願いします！

市町名	目標	12月	1月	合計	達成率	達成まで
佐賀市	8	0	1	9	113%	達成
唐津市	12	0	3	7	58%	5
鳥栖市	1	0	0	0	0%	1
多久市	1	0	1	2	200%	達成
伊万里市	4	0	0	0	0%	4
武雄市	2	0	0	0	0%	2
鹿島市	3	0	0	5	167%	達成
小城市	3	0	0	0	0%	3
嬉野市	2	0	0	0	0%	2
神埼市	2	0	0	0	0%	2
吉野ヶ里町	1	0	0	0	0%	1
基山町	1	0	0	0	0%	1
上峰町	1	0	0	0	0%	1
みやき町	1	0	0	1	100%	達成
玄海町	2	1	0	2	100%	達成
有田町	1	0	0	1	100%	達成
大町町	1	0	0	0	0%	1
江北町	1	0	0	0	0%	1
白石町	7	1	3	11	157%	達成
太良町	3	0	0	2	67%	1
計	57	2	8	40	70%	17

### ① 通常加入の保険料はいつでも見直し可能

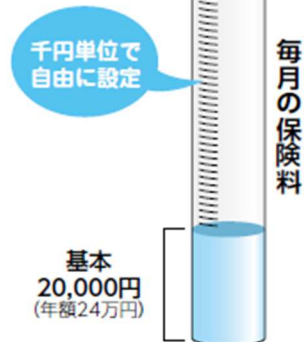


### ② 保険料は、毎月納付と前納納付があります

### ③ 経営が安定したら、保険料を増額する方が多い。満額も。

農業経営にゆとりが出てくる40歳代半ば、50歳代以上で加入された方は、2万円より高い金額を選択する方の割合が比較的多くなっています。

50歳代で新規加入された方が選択した保険料の額は、49%の方が4万円台以上、36%の方が6万円台となっています（令和4年度）。



2月14日～26日にかけて、県内4地区で受給予定者説明会を開催し、特例付加年金の受給権がある方をはじめ、計39名の受給予定者が出席されました。

ご協力いただいた担当者の皆様ありがとうございました。



農業者の皆さん！

農業者年金オンラインセミナー  
**アーカイブ動画配信中**

～農業者の特権「農業者年金」の制度と活用方法～  
 ～ほったらかし・低リスク投資で資産形成～



令和6年12月11日に開催した、令和6年度農業者年金オンラインセミナーのアーカイブ動画を配信しております。

当日ご覧になれなかった方はもちろん、再度視聴したい方などもぜひご覧ください。

また、農業者年金基金ホームページには、質疑応答も掲載しておりますので、併せてご確認ください。

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>



右の二次元コードからアーカイブ動画へ直接アクセスできます！ <https://youtu.be/kc8RjmhCb00>



← iDeCoや国民年金基金との違いを詳しく知りたい方はこちらもチェック

<https://youtu.be/YZmJHu9vVUA>



お問い合わせ

独立行政法人農業者年金基金 企画調整室

03-5919-0332

[info@nounen.go.jp](mailto:info@nounen.go.jp)



詳しくは・・・



## 9. 全国農業新聞の普及推進・全国農業図書を紹介

### ○全国農業新聞のスローガン

～農業委員・推進委員1人・1年・1部純増を！！～

令和7年3月現在

市町名	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
佐賀市	210	165	45	5
唐津市	136	105	31	5
鳥栖市	61	42	19	0
多久市	62	44	18	0
伊万里市	90	62	28	4
武雄市	96	67	29	0
鹿島市	91	64	27	0
小城市	73	66	7	5
嬉野市	69	53	16	4
神埼市	89	63	26	1

市町名	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読
吉野ヶ里町	44	30	14	7
基山町	26	16	10	1
上峰町	22	15	7	2
みやき町	61	28	33	0
玄海町	35	25	10	0
有田町	41	31	10	4
大町町	22	16	6	0
江北町	44	30	14	1
白石町	79	49	30	5
太良町	51	37	14	0
農業会議	98	90	8	
	1,500	1,098	402	44

### 「全国農業新聞」を是非、購読しましょう

農業委員会組織では、全国農業委員会会長大会の決議に基づき、農業委員・推進委員全員に「全国農業新聞」を購読いただく活動に取り組んでいます。

全国農業新聞は、農地利用最適化活動や地域計画の策定推進など各委員が地域で活動に取り組む上で参考になる情報が満載されています。

また、農業情勢や農業政策についての記事も充実しており、農業委員・推進委員が活動する情報源となっています。



### 農業会議だよりの記事募集について

農業委員・推進委員の日頃からの委員会活動などの情報を提供してください。どんな些細なことでも結構です。取材に参ります。

連絡先 TEL：0952-20-1810 E-mail：sanoukai@sanoukai.jp  
担当：佐賀県農業会議 徳永まで

## ○全国農業図書の紹介について

## 新刊図書の案内

### 農業委員会はこんな活動をしています！

#### 農業委員・推進委員の研修会で役立つリーフレット

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会、農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。

農業委員・推進委員の役割と連携等についても解説しています。

地域の方々への農業委員会活動の紹介や、委員の推薦・公募の際の周知に最適です。農業委員・推進委員の研修資料などにも活用いただけます。【税込 55 円】



### 農地転用許可制度のあらまし

#### 農地転用許可制度をオールカラーで説明！

農地転用許可制度のあらましをオールカラーのイラストや写真で説明した 24 ページの小冊子です。

制度の概要をはじめ農地区分と要件、農地区分ごとの許可の方針、審査事項（立地基準、一般基準）や審査事務の流れなどを分かりやすいビジュアルでまとめています。

また、食料・農業・農村基本法と併せて改正された農地法の改正ポイントを追記しています。【税込 286 円】



### 農家のためのなんでもわかる農業の税制

#### この1冊で“農家の税金”はお任せ！

「税金は難しい」と思っている農業者・農業関係者が多いようです。しかし、農業経営に関係する税制のすべてが必要となるわけではありません。税制を理解して適切な納税に努めることは、農業経営の確立・経営管理の高度化にとって、今後ますます重要になると考えられます。

本書は、農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税、消費税から国民健康保険税まで農業者に関係の深い 19 の税金について、文字通り「なんでもわかる」よう、あらましと各種の特例措置など最新の税制を網羅しています。

【税込 1,320 円】



## 10. 常設審議委員会の結果について（令和7年1・2月）

農地法第4条、第5条及び第41条の規定により県農業委員会ネットワーク機構（一般社団法人佐賀県農業会議）に意見を求められた案件について、常設審議委員会で審議されました。

第106回、第107回の件数及び面積については、下表のとおりです。

【田畑別件数及び面積（㎡）】

	期日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第106回	1月15日	第4条	0	—	1	5,721	1	5,721
		第5条	3	10,848	0	—	3	10,848
		第41条	1	40	1	688	2	728
第107回	2月17日	第4条	0	—	1	4,086	1	4,086
		第5条	2	7,732	1	3,637	3	11,369

## 11. 今後の行事予定について

月	日	時間	場所	内容
3	17	13:30	佐賀総合庁舎	第108回常設審議委員会
	25	13:30	佐賀総合庁舎	第18回理事会
4	11	10:00	佐賀総合庁舎	第1回農業委員会新任職員研修会
	15	13:30	佐賀総合庁舎	第109回常設審議委員会
	17	午後	グランデはがくれ	市町農業委員会事務局長会議
5	12	13:30	グランデはがくれ	第2回農業委員会新任職員研修会
	15	13:30	佐賀総合庁舎	第110回常設審議委員会
	27	13:30	グランデはがくれ	農業委員会職員協議会総会・研修会
	28・29	13:30	東京都	全国農業委員会会長大会、要請活動
6	16	10:30	グランデはがくれ	第111回常設審議委員会
		13:00		第10回通常総会
		総会后		市町農業委員会会長会議

※2月末時点での予定ですので、変更もあります。公文書の確認をお願いします。

**ご予約をお願いします！！**